

[Vシープタイプ]

No.	サイズ (シープ径)	種類	ロープ 最大径	d	L	L ₁	L ₂	D ₁	B	B ₁	B ₂	t	t ₁	使用六角レンチ径	ベアリング呼び番号	重量 (kg)	使用荷重 (t)
AK1690	75	1車	16	14.5	214	38	111	59	83	19	8.5	21	45	4	6202	1.3	0.7
AK1696	100	1車	16	16	268	44	134	84	110	22	10.5	25	56	5	6304	2.6	1.6

[Uシープタイプ]

No.	サイズ (シープ径)	種類	ロープ 最大径	d	L	L ₁	L ₂	D ₁	B	B ₁	B ₂	t	t ₁	使用六角レンチ径	ベアリング呼び番号	重量 (kg)	使用荷重 (t)
AK1691	100	1車	22	16	268	44	137	78	110	22	10.5	25	56	5	6304	2.6	1.6

※材質: SCS14 (SUS316相当)、シープ=SCS1 (SUS410相当)
 シープピン/スイベル/スイベルピン/トグルピン/ストッパーピン=SUS304
 ※使用荷重はベアリングの使用荷重に準じていますが、ベケット部分には適用されません。
 ※ベアリングは鉄製 (ゴムシール付) を2枚使用しています。

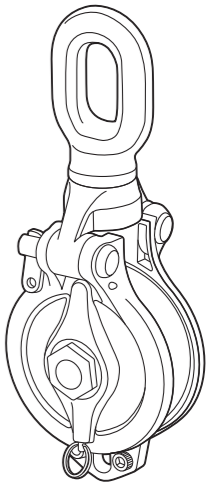
ASANO ステンレス滑車 ダルマブロック PB型

1690 MA

取扱説明書

はじめに

- 本製品を正しく安全にお使いいただくために、また、お客様や回りの方々への危害や財産の損害を防止するために、本書をよく読んで理解した上で本製品をお取り扱いください。
- 本書を読んだ後は、すぐに参照できる場所に保管してください。
- 本製品を使用するクレーン等の装置の設計や設置は、専門家が行ってください。
- 本製品を取り扱う際は、労働安全衛生規則およびクレーン等安全規則に従って作業を行ってください。
- 本製品は、重量物を吊り上げるまたは引っ張ることを目的として製造されています。それ以外の用途で使用しないでください。
- 本製品は「業務用」です。「一般家庭用」ではありません。



安全上のご注意

この「安全上のご注意」および本文中には、人への危害や財産の損害を防止するために、お守りいただくことを説明しています。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分しています。

警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負うおそれや物的損害を受けるおそれがある内容を示しています。
-----------	---	-----------	--

■お守りいただく内容を次の図記号で示しています。

	してはいけない内容です。		しなければならない内容です。
--	--------------	--	----------------

警告

<ul style="list-style-type: none"> 人や、人に乗せたものを吊るす用途に使用しない。 重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 使用荷重を超える荷重をかけない。 滑車が破損して吊荷が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 衝撃荷重をかけない。 滑車やその他の部材の破断や吊荷の落下により、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 吊荷の上や滑車装置の上に乗らない。 転落や吊荷の落下により、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 吊荷の動く範囲や滑車の下に人がいるときは使用しない。 重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 吊り上げ中は滑車、ロープ、吊荷付近、吊荷の下に近づかない。 手や身体を挟まれたり、落下した吊荷の下敷きになり、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 スイベルを常に回転させるような用途に使用しない。 スイベルが破損して吊荷が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 溶接や切削などの改造をしない。 滑車の強度低下や破断などにより、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 使用前点検及び定期点検を行う。 点検を怠ると、滑車の異常や破損を発見できず、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 ロープの取り付け具を滑車に接触させない。 滑車が損傷し、吊荷の落下事故につながるおそれがあります。 吊荷は、シープ及び吊荷取り付け具と直列になるよう取り付け。 滑車に対し、横向きに荷重をかけると、破断などにより、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 吊荷の吊り上げ開始後、シープの溝からロープが外れていないことを確認する。 ロープの損傷により吊荷が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 強風などの天候不良のときは使用しない。 吊荷が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。 滑車の取付・取外・運搬のときは、滑りにくい保護手袋を着用し、安定した場所で作業する。 滑車が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。
---	--

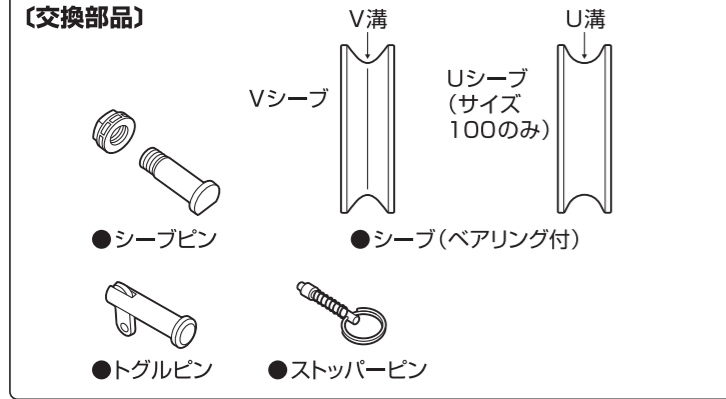
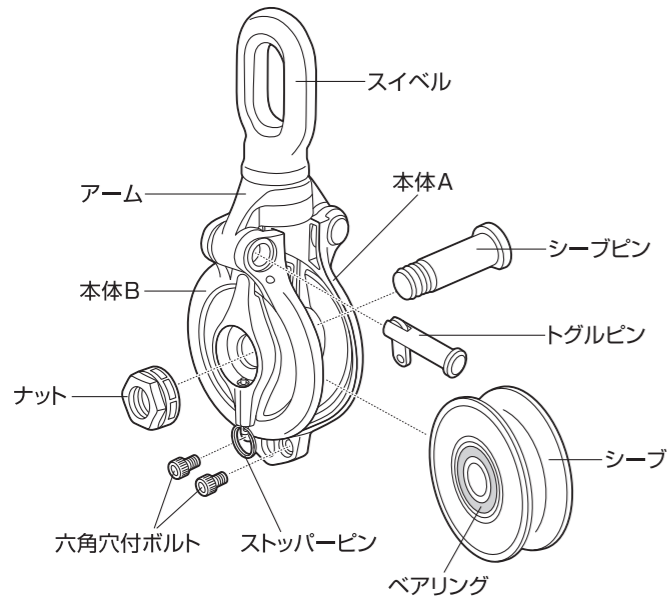
注意

<ul style="list-style-type: none"> 海中や水中などの液体中で使用しない。 異物の付着や腐食により、極端な回転不良や強度低下につながります。 滑車を鋭利な物品や、摩耗しやすい面と接触させない。 損傷や摩耗により、滑車の強度低下の原因になります。 シープを長時間連続して高速回転させない。 摩擦熱によりベアリングが摩耗し、シープの回転不良の原因になります。 使用温度-18℃～66℃の範囲内で使用する。 使用温度範囲外で使用した場合、回転不良や強度低下の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 低温環境下では、作業前にシープが凍結していないかを確認する。 凍結によるシープの回転不良でロープを損傷するおそれがあります。 高温環境下では定期的な注油を行う。 高温環境下では潤滑油の消耗が激しく、潤滑油が枯渇すると、スイベルやシープの回転不良の原因になります。 以下の環境では使用又は保管しない。 ●極端な温度変化のある場所 ●腐食性または酸性のガスなどが発生する場所 回転不良や強度低下の原因になります。
--	---

<p>製造元 ASANO 浅野金属工業株式会社 〒955-0803 新潟県三条市月岡 2866 TEL 0256-33-0101 FAX 0256-33-0096 ホームページ http://www.asano-metal.co.jp/ E-mail sales@asano-metal.co.jp</p>	<p>販売店名</p>
---	-------------

1.各部の名称

■ダルマブロックPB型 1車(サイズ75、100)

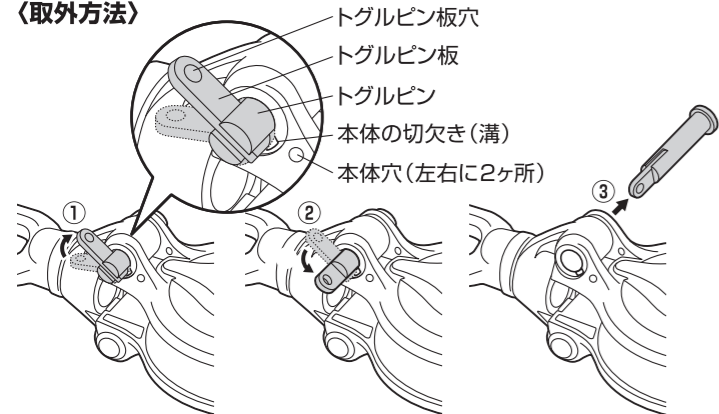


2.部品の取外・取付方法

トグルピンの取外・取付方法

●トグルピンは、トグルピン板が本体の切欠き(溝)の位置に合ったときだけ取外・取付が可能です。

【取外方法】



- ①トグルピン板を溝の位置に合わせます。
- ②トグルピン板を図のように倒し、真っすぐにします。
- ③トグルピンを本体から抜いて外します。

【取付方法】

●取付けは、取外方法の逆の順に取付けます。

※溝は左右にありますので、トグルピンの挿入方向はどちら側からでも挿入できます。

※振動等でトグルピン板と溝の位置が合ってしまう場合がありますので、トグルピン板穴と本体穴を針金等で縛ると防止できます。

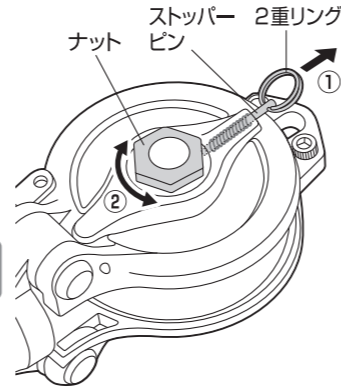
ナットの取外・取付方法

●ナットが緩まないようにストッパーピンでロックしています。

※2重リングを引っ張ったときだけストッパーピンが解除されます。

- ①2重リングを引っ張りながら、
- ②ナットをスパナやソケットレンチで回して取外す、または取付けます。

工具 ナット2面幅22(サイズ75)
24(サイズ100)



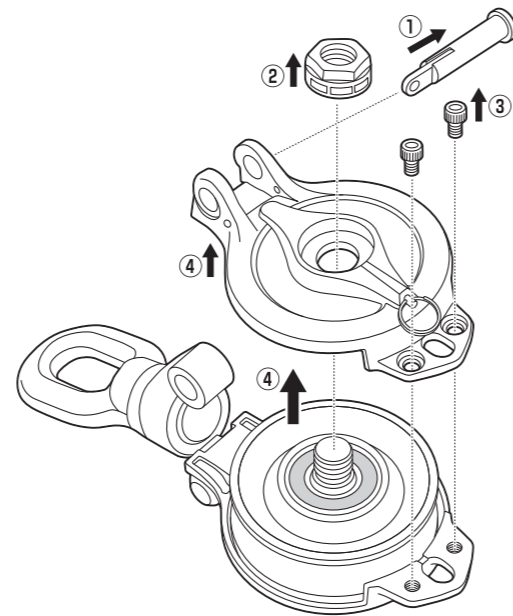
注意 2重リングを引っ張りながらナットを回す。引っ張らないでナットを回すとストッパーピンが挟まり破損してしまいます。

シープの取外・取付方法

- ①トグルピンの取外・取付方法の要領でトグルピンを取外します。
- ②ナットの取外・取付方法の要領でナットを取外します。
- ③六角穴付ボルト(2本)を六角レンチで取外します。

工具 六角レンチ4(サイズ75)
5(サイズ100)

- ④本体Bを取外し、シープを取外して新品のシープと交換します。



※取付ける場合は、取外しと逆の手順で取付けてください。

ストッパーピンの取替方法

●ストッパーピンの2重リングの破損やばねのへたりが発生したら交換してください。(ナットとシープピンを取外した状態でを行います。)

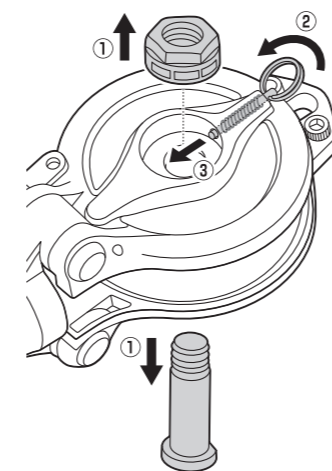
- ①ナットの取外・取付方法の要領でナットを取外し、シープピンを抜き取ります。

- ②2重リングを回してストッパーピンから外します。

- ③ストッパーピンを矢印方向に動かしてばねと一緒に取出します。

※取出しにくい場合、千枚通しなどで反対側の穴から押し出してください。

- ④取替用のストッパーピンを③と逆方向に差し込んで押しながら2重リングをストッパーピンに取付けます。



3.点検・メンテナンス

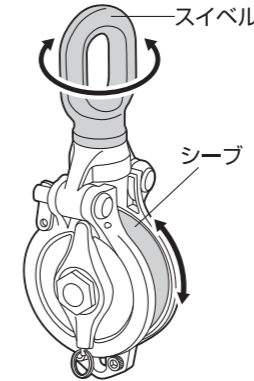
使用前点検

警告 滑車を使用する前に点検を行う。異常がある状態で使用すると、損傷が早くなり、強度低下や製品の破損、吊荷の落下事故などにつながるおそれがあります。

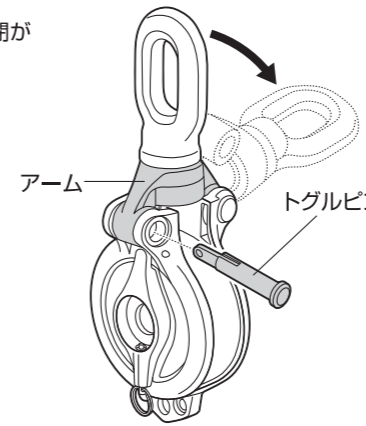
【可動部の点検】

●スイベルやシープの回転がスムーズであること。

注意 回転が悪く、止まったり、偏心やがたつきが大きい場合は、使用を中止し、部品もしくは製品を交換する。



●トグルピンの着脱やアームの開閉が引っ掛かりがなく動作すること。



【ナット・ボルト・ストッパーピンの点検】

- シープピンを固定しているナットの緩みまたは欠損がないこと。
 - 六角穴付ボルト(2本)の緩みまたは欠損がないこと。
 - ストッパーピンのばねのへたりや2重リングの破損または欠損がないこと。
- ※確認方法は、**ナットの取外・取付方法**を参照してください。

【外観目視検査】

- スイベルおよびスイベルピン溶接部にヒビや割れ、腐食のないこと。また、他の部品にもヒビや割れ、腐食のないこと。
- 曲がりやねじれ、ひずみ、伸びがないこと。
- 過度な摩耗や打痕、またはえぐれなどのないこと。
- シープ表面にワイヤーの擦れ痕がないこと。
- 付着物や汚れが付いていないこと。
- 本体の鋳出し文字が読み取れること。



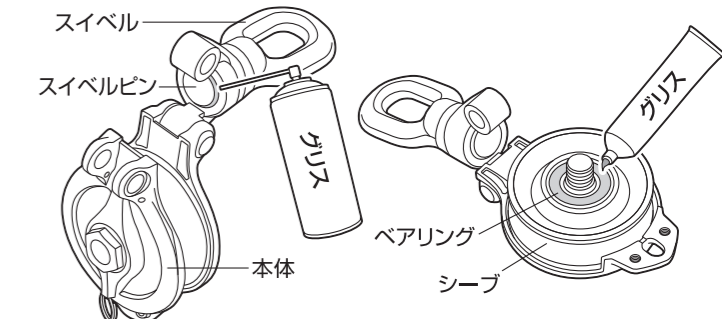
警告 以下の状態の製品は使用しない。
●変形・ヒビや割れ・摩耗などがある製品
●もらいサビや電食などで腐食が進行した製品
吊荷の落下により、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注意 異種金属に長期間接触させない。腐食の原因になります。

メンテナンス

【グリス(または潤滑油)の塗布】

●スイベルピンとシープ側面への塗布



スイベルの回転不良と摩耗を防ぐために、本体内側のスイベルピンのすき間に塗布する。

ベアリングへの水の浸入防止のために、シープ側面のベアリングに塗布する。

警告 スイベルピンのグリスを枯渇させない。枯渇するとスイベルピンの破断や溶接部の割れにつながります。

【腐食(錆)や汚れ、付着物の除去】

- ①軽い汚れ(手あか、砂や泥など)は、やわらかい布やスポンジで水拭きした後、中性洗剤をつけて拭き取ってください。
- ②それでも汚れが取れない場合、市販のクリーナー(洗浄液)やリムーバー(除去液)またはシンナー等をつけて拭くと効果があります。
- ③もらい錆(土埃中の鉄粉が付着して発生する斑点状の錆)は①②を行い、それでも取れない場合は、市販の錆取り剤を使用してください。
- ④市販の錆取り剤でも除去できない場合、サンドペーパーや研磨剤で磨いて除去してください。
- ⑤付着物はマイナスドライバーなど先端の尖ったもので剥がすように除去し、①②を行います。頑丈にこびり付いた付着物は、無理やり叩いたりすると製品が破損する恐れがあるので、やすりや研磨剤で磨いて除去してください。

注意 こまめに拭き掃除をする。海水・ばい煙・鉄粉などが付着すると、腐食の原因になります。

定期点検

- 定期点検は1年に1回以上行ってください。
- 特に使用荷重相当の吊荷を頻りに持ち上げたり、激しい振動や揺れなど過酷な条件で使用した場合、部品の消耗が著しく進行していますので、早めに点検を行ってください。
- 定期点検は、**使用前点検**の項目を全て点検し、**メンテナンス**を行い、それに加えて各部の寸法をチェックし、元の寸法またはカタログ上の寸法より10%変化した場合は、部品もしくは製品を交換してください。(寸法は**5.製品仕様**を参照ください。)

警告 シープ交換などで滑車を分解するときは、高所から取り外して地面で行う。滑車が落下して、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

注意 部品を交換するときは、弊社指定の部品を使用する。部品との不適合により、滑車の機能が低下するおそれがあります。

4.異常が発生した時は...

- 滑車を使用中に何か異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、**3.点検・メンテナンス**の項目を確認してください。

警告 万一滑車に変形や破断で吊荷が宙吊りになったときは、まず吊荷を降ろして滑車にかかる負荷を取り除き、二次災害が起きないように、安全作業に徹する。

●滑車に関するお問い合わせは、購入された販売店にご相談ください。